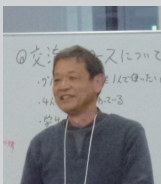


世代交代、後継者育成、活動継承の話をする座談会。明確な解決法はなく、「運営・経営」「情報発信・広報」「時代背景や環境の変化」など内容は多岐にわたります。2022年度は毎月1回、2時間程度の会とSNSでの継続的な情報交換をし、事例やアイデアなどをまとめてサイト上で共有していきます。最初の3回は以下の3名で1時間ほど話題提供、その後参加者同士の自由な意見交換の場とします。

- 2021年の「ぽぽらフェスティバル」トークセッションでの富永一夫さんのお話より
- ・「事業」としての継承や後継者育成と、「ボランティアな活動」は分けて考える。
- ・活動も団体も“ピンピンコロリ”がいい（ボランティアな取り組み）
- ・後継者育成は長期スパンでとらえ、“第2の矢”も用意する。
- ・他の団体のNo2、3などに声をかけてもいい。活躍の場となる。
- ・代表に定年あり、活動に定年なし。
- ・「外から来た人」だからこそが言えることがあり、役割もある。
- ・本当になくせない活動は別の場所で団体やキーパーソンを育てる（圃場）。
市民活動センターがしっかり地域の課題と団体の状況を観ていく。
→今後の市民活動センターの力の発揮どころ

GUEST

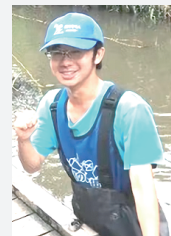


春日部C工房 代表 西山光昭さん

古利根川（八幡橋下流右岸250m）の遊歩道沿いの植栽と花壇作りの活動を継続。身近な環境保全の活動や、環境保護活動の啓発に取り組む。今後の活動、担い手、後継者について考え中。

“川のお兄さん” 小林知輝さん

県内各所で川の清掃や保全、最近は堆肥づくりなどに取り組む大学生。活動を引き継ごうとしたら、ちょっとイタい経験もあり。悩み、迷いながらも地域活動を継続。



GUEST

進行



ぽぽら春日部 アドバイザー 生越（おごせ）康治

NPO くまがや理事。2017年、代表が急逝し休眠状態となった団体に参画。現在では市民活動センターの運営や空き家を活用したたまり場づくりに取り組む。

【2022年7月から9月 スケジュール】

- 7月3日（日）10:00～12:00 「持続可能か？市民活動・地域活動」
- 8月20日（日）10:00～12:00 「なぜ、若い世代の参加が難しいのか」
- 9月11日（土）10:00～12:00 「活動がなくなったら、どうなるのか」

【内容に関して】

今年度は、『給与・人件費を支払うことができる“事業”としての後継者育成』と、『生涯学習、仲間内の取り組み、生きがいづくり』の活動はテーマとして扱いません。また別途、設定します。